

第3回

新春懇談会

「生きた声を村政に」

開かれたよりよい村政を行うため、村民のみなさんから直接、意見、要望を聞き、今後の行政に繁栄させようと、一月十日、「新春懇談会」が行われました。

当日は、小雨の悪天候にもかかわらず、多数のみなさんが参加され、さまざまな意見要望が出されました。左記で発言のあったものを紹介します。

①村議会は、オール与党化しているのもっと活性化を図ってほしい。

村長 議会活動は、本会議だけでなく、今後とも村民の要望等がよく反映できるように議会とよく協議して村政執行にあたりたい。

議長 村から提案されたものを議会として十分検討することが議会運営のルールである。今後とも議会運営にあたっては、慎重に進めていきたい。



②農業関係の補助施策については、カントリーエレベーター

ターだけでなく、ほかの補助策も行ってほしい。

村長 補助金をだしたから終わりではなく、大規模農家の育成による生産費の低減など、国・県の施策のなかで対応していきたい。

③石山味噌醤油(株)の工場進出に際して、地元への事前説明会がなされなかつたので注意してほしい。

村長 今後このようなことのないよう十分留意したい。

④上曲通の神社敷道を道路に拡幅するようだが、住民とよく協議してから進めてほしい。

村長 地元、宮司と十分協議をして進めていきたい。

⑤農村環境改善センターにゲートボールマットが収納できるスポーツ用具入れを造ってほしい。



⑥中学校建設で完成した建物に不備があったとのことだが、どういうことか。

村長 校舎の一部の戸の建て付けの問題であり、中学校建設特別委員会と協議して対処した。

⑦村内に交通事故が多発しているが、行政指導の足りない点が多々あると思われるので、今後事故の起こらないよう処置をしてほしい。

村長 新幹線側道の一時停止標識の設置、広域農道の取

第22回

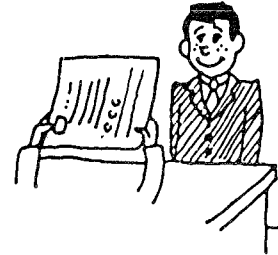
月潟村表彰式

平成四年度の月潟村表彰式が、一月十日(日)、農村環境改善センターで行われ、村の発展・産業文化・福祉の向上などに尽くされ、その功労が顕著な人、十人、三団体が村の表彰条例に基づき表彰されました。

この表彰式は、「新春懇談会」と同じ日に行われ、会場に集まった約百二十人の見守る中、村長から一人ひとりに表彰状と記念品が贈られました。左記で表彰された人をご紹介します。

(敬称略)

- 1、村の行政・教育文化・産業・保健衛生・民生・土木・土地改良・災害・納税・滋養事業・その他公益事業について功労顕著なる者
  - 青柳トイ
  - (多年福祉団体の功績)
  - 諏訪三零
  - (人権擁護委員として満十二年以上在職)
  - 月潟中学校吹奏楽部
  - (第四十八回関東吹奏楽コンクール金賞受賞)
- 2、満八年以上上議会議員の職にあつた者
  - みずほ会
  - (社会福祉奉仕活動十五年以上の功績)
  - 深沢幸雄・堀 波夫
  - (村議会議員として尽くされた功績)
- 3、村の職員として満二十年以上勤続し成績がすぐれ、功労があると認められる者
  - 登石純一
  - (昭和四十七年五月から月潟村職員として勤務)
  - 4、徳行のすぐれた者
    - 佐藤佐久治・近藤広子
    - (人命救助に尽くされた功績)
    - 矢挽タマ
    - (献血に率先して協力)
  - 5、村に対し、金額または価格二十万円以上の寄附をした個人または五十万円以上の寄附をした団体
    - 渡辺ミツ・西森宏八洲
    - 新潟化学(株)
    - (金員の寄附)



受賞者のみなさん、おめでとうございます。これからの活躍を願っています。